

平成
25年度

一般会計予算71億9600万円

(対前年比8.2%の減)

全会一致で可決

3月11日から12日の2日間で全10会計を予算特別委員会
(議長を除く13人)で審査しました。

「**けたい**」施策を展開

130億8320万円

(対前年比3.6%の減)



卒業を前に文集づくり (西中学校)

討論

賛成討論 山田 仁議員

平成25年度の一般会計の予算として、総額71億9600万円が示されました。予算総額では、投機的経費や人件費などの減少で前年比6億4100万円の減少となりました。必要なものだけやる」の意味においては正しい措置と考えます。少子高齢化が叫ばれるなか、子育て支援の具体策として、中学校3年生以下の子供が3人いる家庭の第3子以降の保育料の無償化の実現、その他の子育て支援事業も継続計上されていることを評価します。若い世代の定住条件の充実という面からも、引き続き世代ニーズの把握に務めていただきたい。

ハード事業もいくつか導入されています。ふるさと森林公園内のテニスコートや芝生全面張替え事業が計上されています。西置賜管内中学校の大会会場でもあり、大勢応援にきます。必要性は認めます。しからば観戦の場所や付帯設備はどうでしょうか。当町では、交流人口増加を大きな目標としていることから、これらスポーツ施設を生かすことも重要です。今後は、町の方向性が伝わってくるよう、「思考の幅(はば)」を広げていただきたいと思っています。

一方、歳入も町税収入の減少をはじめ、各種収入財源の減少を見込まざるを得ないなど、依然財政は厳しい状況といえます。引き続き、財政に係る各指標に十分留意しながら、財源の確保をはかっていただきたいと思っています。

総じて、今とるべき施策と合致していると評価し、賛成討論いたします。